



防災まちづくり談義の会

～災害時のトイレ対策～

～3.11 から浮かび上がった横浜市の支援体制の課題・
「新たな防災対策の策定」に向けた取り組みについて～

概要

阪神淡路大震災、東日本大震災、熊本地震等、避難所生活・在宅避難・車中泊避難も含めてトイレ対策は大きな課題です。飲食物はある程度我慢出来ても、排せつは無理！横浜市の取り組みを参考に、「災害時のトイレ対策」を考え・備えましょう。

例えば

- ・トイレパックの備蓄・使用方法などは知っていますか？
- ・道路に埋設されている下水道管は大丈夫？
- ・下水道事業で行っている地震対策とは？

講師：高橋 浩二 氏
横浜市環境創造局
管路保全課
下水道普及担当係長

講師：畑 裕己 氏
横浜市資源循環局
街の美化推進課
担当係長



【被災地域での収集作業】横浜市災害対策トイレの問題HPより

◆日時：2018年5月25日(金)
18時～19時30分

◆会場：神奈川大学 24号館 310号室

◆参加費：無料(資料代100円)

◆問い合わせ先：080-5007-0885(池田)

主催「防災塾・だるま」

<http://darumajin.sakura.ne.jp>



神奈川大学：大学東門の看板で確認ください

次回のご案内 開催日時：6月29日(0)18時～19時30分 場所：神奈川大学 24号館 310号室
テーマ(案)：「災害派遣における保健活動」 講師：横浜市健康福祉局健康安全部 担当係長